

であいこうか 62

(甲賀ソフトテニススポーツ少年団) 玉木里奈さん(写真左) 中村菜緒さん(写真右)

みんなのはげましと息の合ったプレーでつかんだ全国大会

甲賀ソフトテニススポーツ少年団に所属する小学校六年生になったばかりの玉木さんと中村さんは、平成24年3月30日～31日に開催された全国小学生ソフトテニス大会女子個人の部で9位に入賞しました。夏に島根県出雲市で開催される全日本選手権大会では、さらに好成績を収めようと、毎日練習に励んでいます。

—ソフトテニスを始められたきっかけは何ですか。 玉木：お父さんがテニスをやっているのを見て、おもしろそうと思ったので始めました。 中村：私も、お父さんがテニスをしていたので、始めました。

—ソフトテニスを始めて何か変わったことはありますか。 玉木：ソフトテニスのことばかり考えるようになりました。ずっと一つのことを打ち込めています。

—全国で上位に入るのは練習も大変でしょうね。 中村：練習はつらく感じたことはありますが、どんなに大きな試合でも楽しくプレーしています。後衛の里奈ちゃんが、いつも指示を出してくれているので安心して攻めることができます。 玉木：試合に負けた時が本当にくやしかったです。

—今年ももうすぐ大会が始まりますが、次の目標は。 玉木：中村：まずは、県大会での優勝をめざします。全国大会ではみんな身体が大きくて強かったけど、二人が力を合わせて、次は前よりも順位をあげられるように毎日練習をがんばってます。



夜になっても熱心に練習するお二人



あかのみや 阿迦之宮例祭

市の春の風物詩のひとつ阿迦之宮の例祭が、4月17日、市観光協会と水口宿をよくする会の主催で行われ、中嶋市長や関係者ら約100名が参列しました。阿迦之宮は古城山(通称・城山)山頂にまつられるもので、毎年この日に水口岡山城の城主、長束正家をしのび、観光振興やまちの賑わいを願って祭典が開かれています。



▲長束正家をしのいで営まれた例祭

春の風物詩 阿迦之宮の例祭

お花見給食に舌鼓

朝宮小学校お花見給食

朝宮小学校で4月17日、全校生徒30人がお花見給食を楽しみました。

同校では、玄関前の桜の古木が毎年、みごとな花を咲かせ、お花見給食は季節の恒例行事のひとつになっています。

当日は、うらかな日差しのもと、ほぼ満開の桜とあって、絶好のお花見日よりとなりました。児童らは、教室では味わえない一味違った給食に、舌鼓を打っていました。



桜舞う校庭での給食を楽しむ児童たち



元気なまちかど

移動図書館「ぶっくるん」お披露目会



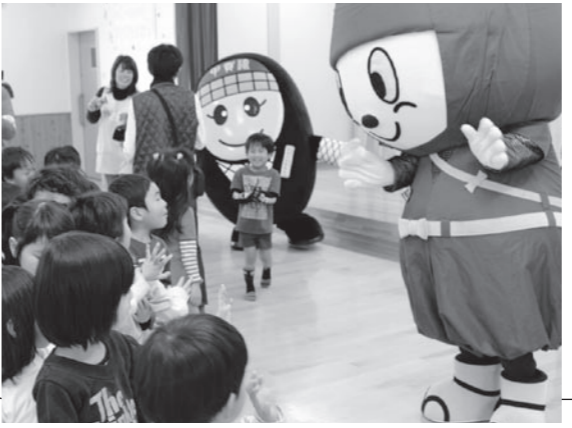
▶「ぶっくるん」の本を手にとる市民の皆さん

新しい移動図書館車「ぶっくるん」のお披露目式が、4月7日水口図書館前で行われました。「ぶっくるん」は、市内で681点の公募のあった中から、伴谷小学校の尾崎総くんが応募し、選ばれた愛称です。お披露目の後、早速本の貸し出しが行われ、子どもから大人まで真新しい車体に載せられた本を、次々と貸りていきました。「ぶっくるん」は、4月から約1500冊の本を載せて水口・信楽地域を巡回しています。本の貸し出しに必要なカードは図書館と共通です。お気軽にご利用ください。

移動図書館車 「ぶっくるん」がスタート

甲賀西保育園 NINJAフェスタ

甲賀市、伊賀市の忍術マスコットキャラクターがそろって4月12日、甲賀西保育園を訪ねました。同園を訪問したのは甲賀市の「にんじゃえもん」と伊賀市の「にん太」で、開催中の「伊賀上野NINJAフェスタ」のPRの一環で実現したものです。園児らは、思わぬお客さまに大喜びの様子で、自分たちよりも大きな二人のマスコットに声をかけたり握手を求めたりして、大はしゃぎしていました。



▲園児に大人気の伊賀の「にん太」と甲賀の「にんじゃえもん」

伝統の窯元と若きアーティストたちの共演

信楽ACT2012



▲おめんを展示する「移動体ギャラリー」と大喜びの子どもたち

信楽町長野のまちなかを中心に、4月13日～16日の4日間、歴史ある信楽のまちと作家たちが作り上げる祭典「信楽ACT2012」が開催されました。

好天に恵まれた週末とあって、家族連れや愛好家の皆さんで賑わいました。

このイベントは、「信楽座」が催したもので、会場一帯をアート空間として、さまざまな作品が主に「移動体ギャラリー」によって展示されました。これは、屋台のように自分の作品を思い思いの場所で表現する方法です。

訪れた皆さんは、伝統の窯元と若き芸術家たちの作品の共演を、まちなかを散策しながら楽しんでいました。